



瑞穂町

すみたいまち
つながるまち
あたらしいまち

実証実験運行期間中は
運賃無料／要予約

自動運転バスに

乗つてみよう



3月からコミュニティバスにて実装予定！
自動運転バスの運行予定日は町HPにて案内します。



実証実験運行

2.14 土～20 金

日曜運休

金

ルート

石畑・殿ヶ谷コース(ジョイフル本田方面)



今回の実証実験運行では、緑色の区間を自動運転レベル2で運行します。

詳しくは右のQRコードからご確認ください▶



自動運転バス導入の目的と効果

瑞穂町では、自動運転技術の導入により公共交通を再編していきます。これにより、運転士等の扱い手不足への対応、交通事故の減少（安全性の向上）ダイヤの改善、運行頻度向上等を進め、持続可能かつ利便性の高い公共交通網を形成します。地域住民のみならず、通勤・通学者の交通利便性やモノレール延伸部における新たなまちづくりの効果を高め、町の発展に寄与することを目指します。

【今後の予定】

コミュニティバスの「石畠・殿ヶ谷コース」にて、自動運転バスを導入し、令和7年度は一部レベル2運行、令和8年度はコース全体のレベル2運行、令和9年度は一部レベル4運行を目指しています。

【自動運転のレベル】

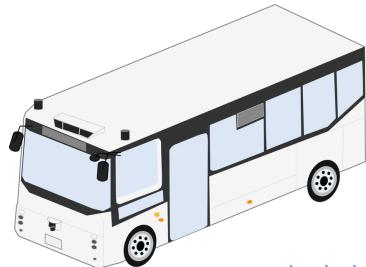
（レベル2運行）

- ・運転手搭乗型（主体）
- ・システムがアクセル・ブレーキとハンドルの両方を部分的に操作する

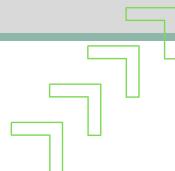
（レベル4運行）

特定の条件下で、

- ・システムがすべて運転する
- ・異常時もシステムが主体となり対応する



自動運転の仕組み



自動運転を支えるしくみーAutoware（オートウェア）

Autowareは、日本で生まれた国産の自動運転ソフトウェアです。

自動運転の車を動かすために必要な機能がまとめられており、世界で初めて作られた「みんなで使える（オープンソース）」自動運転のソフトもあります。

車に取り付けられたカメラやLiDAR（ライダー）というセンサーを使って、

「まわりに何があるかを調べる／自分の車がどこにいるかを知る／どういう風に道を走るかを考える／アクセル、ブレーキ、ハンドルを動かす」といったことを行います。

日本の大学や企業が中心となって開発され、今では海外でも使われています。

実験だけでなく、実際の自動運転サービスにも使われている、日本発の技術です。



自動運転の「目」—LiDAR

LiDARは、レーザー光でまわりまでの距離を測るセンサーです。

人や障害物、道路の形を立体的にとらえ、自動運転を支えています。

カメラ

自動運転車には、役割のちがうカメラが使われています。

人や物を見分けるカメラ、信号の色を認識するカメラ、走行の様子を確認するカメラがあります。

ご乗車は無料です。

事前予約が必要です。（1便あたり13名）

ただし、予約に空きがある場合は、各停留所からご案内を行います。

ご乗車された方は、今後の事業の発展のために、ご乗車後のアンケート調査にご協力ください。

荒天や自動運転システムの不具合などにより運休する可能性がございますので、町HPの情報を必ずご確認ください。

状況により手動運転での運行に切り替わる可能性がございます。

事故防止のため、やむを得ず急停車する場合がございますので、ご注意ください。

運行の支障やほかの参加者の迷惑になると判断した場合には、ご乗車をお断りする場合がございます。

安全のため、着座でのご乗車にご協力をお願いいたします。

予約はこちから



問い合わせ先

瑞穂町 都市整備部 交通政策モノレール推進課 042-557-7579

連携事業者



TACHIKAWA

